

基盤強化・地域貢献を目指します

町内3土地改良区が合併予備調印



6月30日、町内の3土地改良区が来年度合併することになり、予備契約調印式がパレス松風で行われました。式には関係者約60人が出席し、佐藤町長と内谷長井市長の立ち会いのもと、各土地改良区の理事長が調印しました。基盤強化や地域貢献を目的に合併推進協議会を設置し準備を進め、来年4月1日に合併が予定されています。新たな名称は白鷹町土地改良区となり、地区面積は約1000㌦となります。

働く「こと」の意義を学びました

東西中学生が職場体験



7月7日から13日までの5日間、東西中学校の2年生152人が、福祉施設やスーパー、町内の企業などで職場体験を行いました。働くことの意義や喜び、大変さを学び勤労観を身につけることがねらいで、自分で体験したい職場を決め、事前打ち合わせの約束なども本人が直接電話で取りました。さまざまな人と接することで、コミュニケーションやあいさつの大切さが分かった充実した体験となったようです。

青少年の犯罪・非行撲滅へ

第60回社会を明るくする運動



7月1日、第60回社会を明るくする運動住民集会在、健康福祉センターで行われました。60回を数えるこの運動は、「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」をスローガンに、青少年の健全育成などを指すものです。集会では、白鷹町での運動内容などについて確認され、その後、山形東高校の渡部泰山校長から記念講演をいただきました。集会後、町内2カ所に分かれ、街頭啓発が行われました。

集落対策モデル事業が始動

町内初の集落支援員誕生！



7月28日、町内では初となる集落支援員が誕生し、町長から委嘱書の交付が行われました。集落支援員として活動していただくのは、湯澤信弘さん（山口）。大瀬地区を担当していただき、地域活性化のため住民のかたの意見や要望などを収集し、地域のみなさんが安心して住みやすい地区になるよう、役場などとの橋渡しの役割を担っていただきます。任期は今年度末までです。湯澤さんよろしくお願ひします。

日本体育協会表彰を受賞

7月24日、パレス松風において新野晃敏氏日本体育協会表彰祝賀会が開催され、体育協会関係者ら約50人が受賞を祝いました。新野氏は、平成2年日本体育協会公認のスポーツドクターの資格を取得され、若鮎マラソン大会などのスポーツ行事における医療体制の確立に尽力されるなど、医学的見地からスポーツの発展に寄与されました。また、昭和59年から町ソフトボール協会会長、平成4年から平成16年まで白鷹町体育協会会長として、競技者の育成などに尽力されました。これらの生涯スポーツの振興に大きく貢献された功績が認められ、日本体育協会表彰を受けられたものです。今後、益々のご活躍を期待いたします。



新野晃敏氏日本体育協会表彰